(19)日本国特許庁(JP)　(12)公表特許公報(A)　(11)公表番号
特表2023-507095
(P2023-507095A)
(43)公表日　令和5年2月21日(2023.2.21)

(51)国際特許分類		FI			テーマコード（参考）
B65D 5/38 (2006.01)		B65D	5/38	C	3E060

審査請求　未請求　予備審査請求　有　（全26頁）

(21)出願番号　特願2022-535834(P2022-535834)
(86)(22)出願日　令和2年12月16日(2020.12.16)
(85)翻訳文提出日　令和4年6月13日(2022.6.13)
(86)国際出願番号　PCT/EP2020/086396
(87)国際公開番号　WO2021/122727
(87)国際公開日　令和3年6月24日(2021.6.24)
(31)優先権主張番号　19219110.4
(32)優先日　令和1年12月20日(2019.12.20)
(33)優先権主張国・地域又は機関
欧州特許庁(EP)
(81)指定国・地域　AP(BW,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM),EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,
最終頁に続く

(71)出願人　596060424
フィリップ・モーリス・プロダクツ・ソシエテ・アノニム
スイス国セアシュ－２０００ ヌシャテル、ケ、ジャンルノー ３
(74)代理人　100094569
弁理士　田中 伸一郎
(74)代理人　100103610
弁理士　▲吉▼田 和彦
(74)代理人　100109070
弁理士　須田 洋之
(74)代理人　100067013
弁理士　大塚 文昭
(74)代理人　100086771
弁理士　西島 孝喜
最終頁に続く

(54)【発明の名称】　係止機構を備えた外側スリーブおよび内側スライドを有する容器

(57)【要約】
消費財用の容器（１）であって、外側スリーブ（２０）および外側スリーブ（２０）内に配置された内側スライド（５０）を備え、内側スライド（５０）が、消費財を収容するための内部空間を少なくとも部分的に囲む、容器。内側スライド（５０）は、ユーザーが内側スライド（５０）の内部空間にアクセスできない第一の位置と、ユーザーが内側スライド（５０）の内部空間にアクセスできる第二の位置との間で、外側スリーブ（２０）に対して摺動可能である。内側スライド（５０）が第一の位置で外側スリーブ（２０）内にある時、内側スライド係合フラップ（５９）の縁は、外側スリーブ壁上の対応する係合要素（３１）と係合して、内側スライド（５０）が第一の位置から第二の位置へと摺動することを防止するための係止機構を形成するように構成されている。
【選択図】図２

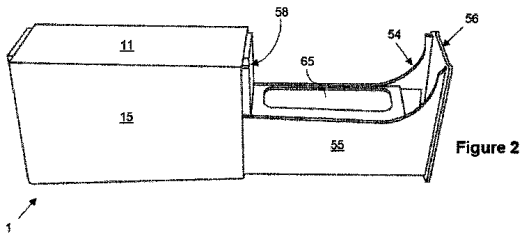

Figure 2

【特許請求の範囲】
【請求項１】
消費財のための容器であって、前記容器が、
外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、外側スリーブ後部壁、第一および第二の対向する外側スリーブ側壁、および開口部を備える第一の端を備える外側スリーブであって、前記第一の端が、前記外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前縁によって区切られる、外側スリーブと、
前記外側スリーブ内に配置された内側スライドであって、前記内側スライドが消費財を収容するための内部空間を少なくとも部分的に囲む、内側スライドと、を含み、
前記内側スライドが、
ユーザーが前記内側スライドの前記内部空間にアクセスできない第一の位置と、
ユーザーが前記内側スライドの前記内部空間にアクセスできる第二の位置との間で、前記外側スリーブに対して摺動可能であり、
前記第一の位置から前記第二の位置への前記内側スライドの摺動は、前記内側スライドの少なくとも一部が前記外側スリーブの前記第一の端の前記開口部を通過することを伴い、
前記内側スライドが、内側スライド係合フラップをさらに含み、
前記内側スライドが前記外側スリーブ内の前記第一の位置にある時、前記内側スライド係合フラップの縁が、外側スリーブ壁上の対応する係合要素と係合して、前記内側スライドが前記第一の位置から前記第二の位置へと摺動することを防止するための係止機構を形成するように構成され、
前記内側スライドが、前記外側スリーブの前記第一の端の形状およびサイズと同じ前記形状およびサイズを有する内側スライド前部壁を備え、
前記内側スライドが前記外側スリーブ内の前記第一の位置にある時、前記内側スライド前部壁の内表面の一部分が、前記外側スリーブ上部壁、前記外側スリーブ底部壁、ならびに前記第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前記前縁を覆っている、容器。
【請求項２】
前記内側スライド前部壁が実質的にバレル形状である、請求項１に記載の容器。
【請求項３】
前記外側スリーブの前記第一の端の前記開口部が、前記外側スリーブの前記第一の端の全体にわたって延在する、請求項１または請求項２に記載の容器。
【請求項４】
前記内側スライドが、消費財を収容するための前記内部空間を少なくとも部分的に囲むレセプタクル部分を備え、前記レセプタクル部分が、前記内側スライド底部壁ならびに前記第一および第二の内側スライド側壁によって少なくとも部分的に画定され、
前記第一および第二の内側スライド側壁のそれぞれが、前記内側スライドの前記レセプタクル部分内に、前記外側スリーブの内部高さよりも小さい高さを有する、請求項１～３のいずれか一項に記載の容器。
【請求項５】
前記内側スライドが、前記内側スライド後部壁、ならびに前記第一および第二の内側スライド側壁のうちの一つ以上によって形成される第一の整列部分を備え、
前記第一の整列部分が、前記外側スリーブの前記内部高さと実質的に同一である高さを有する、請求項１～４のいずれか一項に記載の容器。
【請求項６】
前記第一の整列部分が前記外側スリーブ後部壁と前記レセプタクル部分との間に配置される、請求項４に従属する場合の、請求項５に記載の容器。
【請求項７】
前記内側スライド前部壁が、前記第一および第二の内側スライド側壁のそれぞれの前記

前縁に固定され、前記第一および第二の内側スライド側壁のそれぞれの前記前縁が、前記内側スライド前部壁の高さの少なくとも５０％である高さを有し得る、請求項１～６のいずれか一項に記載の容器。
【請求項８】
前記容器が、前記内側スライドが前記外側スリーブの前記第一の端の前記開口部から完全に外へ摺動することを防止するための保持機構をさらに含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の容器。
【請求項９】
前記外側スリーブが折り目によって外側スリーブ壁に接続された保持パネルを備え、前記保持パネルが前記保持機構の一部を形成する、請求項８に記載の容器。
【請求項１０】
前記内側スライドが、内側スライド保持フラップをさらに備え、前記内側スライド保持フラップが前記保持機構の一部を形成し、
前記第一の位置から前記第二の位置への前記内側スライドの摺動中、前記内側スライド保持フラップは、前記外側スリーブの前記保持パネルと係合し、前記内側スライドが前記外側スリーブの前記第一の端の前記開口部から完全に外へ摺動することを防止するように構成される、請求項９に記載の容器。
【請求項１１】
前記外側スリーブの前記係合要素が、前記外側スリーブ底部壁の内表面上に提供される、請求項１～１０のいずれか一項に記載の容器。
【請求項１２】
前記外側スリーブ底部壁が、第一のパネルおよび前記第一のパネルを覆う第二のパネルから形成され、前記外側スリーブの前記係合要素が、前記外側スリーブ底部壁の前記第二のパネルによって画定される、請求項１～１１のいずれか一項に記載の容器。
【請求項１３】
前記係合要素を有する前記外側スリーブの壁には、前記内側スライド係合フラップの前記縁を、前記係合要素から係合解除することを可能にするための解放要素がさらに提供される、請求項１～１２のいずれか一項に記載の容器。
【請求項１４】
前記解放要素が、前記係合要素を有する前記外側スリーブの壁上の少なくとも一つの切断線によって形成される解放タブを含む、請求項１３に記載の容器。
【請求項１５】
前記内側スライドが前記外側スリーブ内の前記第一の位置にある時、前記解放要素が、前記内側スライド係合フラップの少なくとも一部分を覆う、請求項１３または請求項１４に記載の容器。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、消費財のための容器に関する。本発明による容器には、エアロゾル発生物品またはエアロゾル発生物品の構成要素のための容器としての特定の用途がある。
【背景技術】
【０００２】
外側シェルまたはスリーブ、および消費財が収容され、外側シェル内で摺動可能な内側スライドを備える容器に消費財を包装することが知られている。消費財をこうした容器から取り出すために、ユーザーは、内側スライドを外側シェル内の初期位置から、内側スライドの開放端または側面を部分的に露出させるために内側スライドが外側シェルから外方に突出する開位置へと摺動させる。こうした容器は、スライド・アンド・シェル容器とも呼ばれ得る。
【０００３】
内側スライドは、ユーザーが消費財にアクセスしようとするまで外側シェル内に封入さ

れたままになることを確実にすることが望ましい場合がある。例えば、容器が輸送されている時に、内側スライドが閉位置のままであることを確実にすることが望ましい場合がある。確実な閉鎖部は、消費財が不注意により容器から落ちるのを防止するのに役立ち得る。容器の偶発的な開封を防止することは、その鮮度など、消費財の一つ以上の特性を保持するのに役立ち得る。

【０００４】

内側スライドが不注意により閉位置から開位置へと移動するリスクを低減するように構成された、消費財のための新規かつ改善された容器を提供することが望ましい。さらに、製造工程が容易かつコスト効果が高い、こうした改善された容器を形成するための一つ以上の層状ブランクを提供することが望ましい。

【発明の概要】

【０００５】

本開示によれば、消費財のための容器が提供されている。容器は、外側スリーブを備える。外側スリーブは、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、外側スリーブ後部壁、第一および第二の対向する外側スリーブ側壁、ならびに開口部を含む第一の端を備える。外側スリーブの第一の端は、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、外側スリーブ後部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前縁によって区切られる。容器は、外側スリーブ内に配置された内側スライドを備える。内側スライドは、消費財を収容するための内部空間を少なくとも部分的に囲んでいる。内側スライドは、ユーザーが内側スライドの内部空間にアクセスできない第一の位置と、ユーザーが内側スライドの内部空間にアクセスできる第二の位置との間で、外側スリーブに対して摺動可能である。第一の位置から第二の位置へ内側スライドを摺動することは、内側スライドの少なくとも一部が外側スリーブの第一の端の開口部を通過することを伴う。内側スライドは、内側スライド係合フラップをさらに含む。内側スライドが第一の位置で外側スリーブ内にある時、内側スライド係合フラップの縁は、外側スリーブ壁上の対応する係合要素と係合して、内側スライドが第一の位置から第二の位置へと摺動することを防止するための係止機構を形成するように構成されている。

【０００６】

内側スライドは、内表面を有する内側スライド前部壁を備えてもよい。内側スライド前部壁は、外側スリーブの第一の端の形状およびサイズと実質的に同じ形状およびサイズを有してもよい。内側スライド前部壁は、外側スリーブの第一の端の形状およびサイズと同じ形状およびサイズを有してもよい。

【０００７】

内側スライドが外側スリーブの第一の位置にある時、内側スライド前部壁の内表面の一部分が、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前縁を覆ってもよい。別の方法として、内側スライドが外側スリーブの第一の位置にある時、内側スライド前部壁の内表面の一部分が、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前縁を覆ってもよい。これらの外側スリーブ壁の前縁上にあるか、または覆うことによって、内側スライド前部壁は、容器がその前面から見た時に、これらの端がユーザーに見えないようにする。

【０００８】

一部の実施形態では、容器は、内側スライドが外側スリーブの第一の位置にある時、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前縁が、内側スライド前部壁の内表面の一部分に当接するように構成される。これはさらに、外側スリーブの壁と内側スライド前部壁との間の任意の目に見えるギャップを最小限に抑えるのに役立ち得る。内側スライド前部壁の内表面の部分は、周辺部分と呼んでもよい。

【０００９】

内側スライド係合フラップおよび対応する係合要素は、容器のための係止機構の少なく

とも一部を形成する。容器にこうした係止機構を設けることによって、容器を係止状態のままにすることができ、その状態では内側スライドの内部にアクセスできない。これは、使用していない時に容器を係止できることを意味する。したがって、係止機構は、容器の不注意による開封のリスクを低減するのに役立ち得る。これは、消費財が不注意により容器から落ちるのを防止するのに役立ち得る。これは、その鮮度など、消費財の一つ以上の特性を保持するのに役立ち得る。

【００１０】

本発明による容器を提供することによって、係止機構の少なくとも一部は、容器の外観から隠され得る。これは、係止機構が明らかには見えにくいことを意味し得る。これは、不注意により容器が係止解除されるリスクを低減するのに役立ち得る。より具体的には、内側スライド係合フラップは、外側スリーブ壁の内表面上の係合要素と係合するように構成されているため、内側スライド係合フラップは、外側スリーブ壁の下にあり、それ故に少なくとも部分的に隠されている場合がある。

【００１１】

これはまた、容器の外表面の大部分が実質的に途切れがなく、滑らかとなるのにも役立ち得る。これは、容器の輸送および製造の一方または両方に有利であり得る。これはまた、容器の連続した外表面に印刷する際にも有利であり得る。

【００１２】

外側スリーブに対して摺動可能な内側スライドを有する容器にこうした係止機構を使用するという選択は、容器の不注意による開封のリスクを低減するのに特に有利であり得る。これは、係止機構を解放するために必要な動作が、内側スライドを外側スリーブに対して移動させるために必要な摺動動作とは異なる動作であり得るからである。例えば、係止機構を解放するためには押す動作が必要とされ得る一方で、内側スライドを外側スリーブに対して移動させるためには摺動動作が必要とされ得る。こうした異なる別個の動作が必要であることにより、容器が不注意により開封される可能性がさらに低くなり得る。

【００１３】

内側スライド前部壁が外側スリーブの第一の端の形状およびサイズと実質的に同じ形状およびサイズを有するように配置する場合、特に内側スライド前部壁の形状およびサイズが外側スリーブの第一の端の形状およびサイズより大きくない場合、さらなる利点が生じ得る。例えば、こうした実施形態では、内側スライドが第一の位置にある時に、外側スリーブの第一の端の周囲を越えて延在する、内側スライド前部壁の目立つ部分がない場合がある。したがって、内側スライド前部壁には、ユーザーが掴む可能性のある、いかなる目立つプルタブも部分もない。これにより、内側スライド前部壁が外側スリーブ壁、特に外側スリーブ前部壁であるかのように見える視覚的効果を増大させることができる。これは、容器の外観を簡素化する利点を有し得る。これはまた、内側スライドが第一の位置にある時に内側スライドが外側スリーブから誤って引き離される可能性を少なくするため、容器の不注意による開封の可能性を有利に低減し得る。

【００１４】

内側スライドが第一の位置にある時に、内側スライド前部壁の内表面の一部分を、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前縁を覆うように配置する時に、さらなる利点が生じ得る。例えば、こうした実施形態では、容器のどの部分が外側スリーブによって形成され、容器のどの部分が内側スライドによって形成されるかという明確な視覚的表示は存在しない場合がある。これは、内側スライド前部壁と外側スリーブの壁との間に顕著なギャップが見えないためである。代わりに、内側スライド前部壁は、外側スリーブ壁、特に外側スリーブ前部壁であるかのように単に見える場合がある。これは、容器の外観を簡素化する利点を有し得る。これはまた、内側スライドが第一の位置にある時に内側スライドが不注意に外側スリーブから引き離されにくくするので、容器の不注意による開封の可能性を有利に減少させ得る。こうした配置は、内側スライド全体が外側スリーブ内に完全に配置されている容器とは対照的である。

【００１５】
いくつかの実施形態では、内側スライド前部壁は、実質的にバレル形状であってもよい。したがって、内側スライド前部壁は、実質的に真っ直ぐな上端、実質的に真っ直ぐな下端、およびそれぞれ実質的に真っ直ぐな上端の端部から実質的に真っ直ぐな下端の端部まで延在する、外側に凸状の第一および第二の側面の湾曲した縁を有する場合がある。こうした配置は、容器が折り畳まれた段ボールまたは板紙層状ブランクから形成される時、および外側スリーブの側壁が外側スリーブの主要な壁である時に、特に有利であり得る。これは、このような配置では、層状ブランクの天然材料特性が、外側スリーブの主要な側壁にわずかな弓状効果を引き起こす場合があるためである。これにより、外側スリーブの第一の端が、完全な四面体形状というより、ややバレル形状を有するようにつながり得る。したがって、こうした実施形態におけるバレル形状の内側スライド前部壁の使用は、内側スライド前部壁のサイズおよび形状が、外側スリーブの第一の端のサイズおよび形状とより厳密に等しくなることを保証するのに役立つ場合がある。

【００１６】
上述のように、内側スライド前部壁は、外側スリーブの第一の端の形状およびサイズと実質的に同じ形状およびサイズを有してもよい。また上述のように、これは、内側スライドが第一の位置にある時に、内側スライドが外側スリーブから誤って引き離される可能性を少なくするので、容器の不注意による開封の可能性を有利に低減し得る。外側スリーブの第一の端の形状およびサイズに対するこうした言及は、外部からの力を受けない時に外側スリーブを指すことが理解されよう。これは、外側スリーブの静止状態と呼んでもよい。したがって、外側スリーブがその静止状態にある時、容器を開くのがより難しくなり得る。

【００１７】
しかしながら、外側スリーブの側壁がユーザーによって押される場合、それらは内側に偏向し、したがって外側スリーブの第一の端の形状およびサイズを減少し得る。そうすることで、内側スライド前部壁の側縁がより露出し、ユーザーが掴んで引っ張ることができるつかみ点を提供し得る。したがって、容器を開けるのを容易にするために、ユーザーは、外側スリーブの側壁を最初に押し、次いで内側スライド前部壁の側縁を引くことを選択してもよい。こうした配置は、内側スライド前部壁が実質的にバレル形状である実施形態では、特に関連性があり、かつ顕著である。これは、内側スライド前部壁の外側に凸状の第一および第二の側面の湾曲した縁が、外側スリーブ側壁を押すユーザーの動作によって特に露出されるためである。外側スリーブ側壁がユーザーによって押し付けられている時、容器は、圧縮状態であると説明され得る。

【００１８】
外側スリーブの第一の端の形状およびサイズと実質的に同じ形状およびサイズを有する内側スライド前部壁、ならびに内側スライドが第一の位置にある時に外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前縁を覆うための内側スライド前部壁の内表面の一部分の両方を配置することが特に有利であり得る。こうした組み合わせにより、内側スライド前部壁が外側スリーブ壁、特に外側スリーブ前部壁であるかのように見える視覚的効果が強化され得る。

【００１９】
こうした配置はまた、上述の係止機構を有する容器で使用される場合、強化された視覚的効果を有し得る。特に、内側スライドが第一の位置にある時、係止機構は、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前縁に近く、内側スライド前部壁の内表面を保持することができる。これにより、内側スライド前部壁と外側スリーブとの間の目に見えるギャップを最小限に抑えることができる。これにより、内側スライド前部壁が外側スリーブ壁、特に外側スリーブ前部壁であるかのように見える視覚的効果がさらに強化され得る。

【００２０】
外側スリーブの第一の端は、外側スリーブ上部壁のそれぞれの前縁、外側スリーブ底部

壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁によって区切られる。したがって、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前縁は、外側スリーブの第一の端の周囲を集合的に画定し得る。

【００２１】

いくつかの実施形態では、外側スリーブの第一の端の開口部は、外側スリーブの第一の端の全体にわたって延在する。すなわち、外側スリーブの第一の端の開口部は、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前縁によって区切られてもよい。こうした実施形態では、外側スリーブの第一の端の周囲は、開口部の周囲と同一であってもよい。

【００２２】

いくつかの実施形態では、外側スリーブの第一の端は、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のうちの少なくとも二つの前縁から延在する外側スリーブ前面パネルをさらに含む。こうした実施形態では、外側スリーブ前面パネルはまた、開口部と共に外側スリーブの第一の端の一部を形成する。こうした実施形態では、開口部は、外側スリーブ前面パネルの縁によって少なくとも部分的に区切られてもよい。こうした実施形態では、外側スリーブの第一の端の周囲は、開口部の周囲と同じではないであろう。

【００２３】

外側スリーブ壁上の対応する係合要素と係合するように構成された内側スライド係合フラップの縁は、内側スライド係合フラップの自由縁であることが好ましい。フラップの自由縁は、フラップを、フラップが従属する物体に直接的に接続しないようなものである。

【００２４】

内側スライド係合フラップの自由縁は、内側スライド係合フラップの先端縁であることが好ましい。すなわち、外側スリーブ壁上の対応する係合要素と係合するように構成された内側スライド係合フラップのそれぞれの自由縁は、内側スライド係合フラップを内側スライドの残りの部分に接続する内側スライド係合フラップの縁の反対側に位置付けられることが好ましい。

【００２５】

内側スライドは、外側スリーブに対して摺動可能であるように構成されている。したがって、外側スリーブは、内側スライドを受容するように構成された内部を有してもよい。すなわち、外側スリーブは、内側スライドが位置し得る三次元空間を束ね得る。外側スリーブは、外側スリーブの第一の端の反対側に位置付けられた第二の端を含み得る。外側スリーブの第二の端は、外側スリーブ後部壁を含み得る。したがって、外側スリーブは、開口部を有する第一の端と、外側スリーブ後部壁を含む第二の端とを有してもよく、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁は、外側スリーブの第一の端と外側スリーブの後部壁との間に延びる。

【００２６】

内側スライドは、外側スリーブに対して第一の位置と第二の位置との間で移動可能である。第一の位置では、ユーザーが内側スライドの内部空間にアクセスできない。第二の位置では、ユーザーが内側スライドの内部空間にアクセスできる。

【００２７】

第一の位置は、閉位置と見なされ得る。第二の位置は、開位置と見なされ得る。内側スライドが第二の位置にある場合、内側スライドの内部は、ユーザーが直接アクセス可能であり得る。

【００２８】

第一の位置から第二の位置への内側スライドの移動は、内側スライドの少なくとも一部が外側スリーブの第一の端の開口部を通過することを伴う。特に、内側スライドの少なくとも一部は、外側スリーブの第一の端の開口部を通して摺動可能であり、したがって、内側スライドが第一の位置から第二の位置へと移動するにつれて、外側スリーブから少なく

とも部分的に外へ移動するように構成されている。これは、内側スライドが第二の位置にある時に、内側スライドによって保持される消費財へのアクセスの容易さを改善するのに役立ち得る。

【００２９】

外側スリーブおよび内側スライドは、内側スライドが第一の位置にある時に、内側スライドの実質的に全てが外側スリーブによって封入されるように構成されてもよい。特に、外側スリーブおよび内側スライドは、内側スライドが第一の位置にある時に、内側スライド前部壁を唯一除いて内側スライドの全てが外側スリーブによって囲まれるように構成され得る。代わりに内側スライド前部壁は、外側スリーブの外に位置し、外側スリーブ上部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁のそれぞれの前縁を覆っている。これは、内側スライドの表面積を最小化するのに役立ち、内側スライドが第一の位置にある時にユーザーがアクセスできる。これは、容器の不注意による開封を最小化するのに役立ち得る。

【００３０】

外側スリーブは、内部の高さを有してもよい。外側スリーブの内部高さは、外側スリーブ上部壁の内表面と外側スリーブ底部壁の内表面との間の距離として測定され得る。

【００３１】

内側スライドは、内側スライド底部壁を備えてもよい。内側スライドは、第一および第二の対向する内側スライド側壁を備えてもよい。内側スライドは、内側スライド後部壁を含んでもよい。内側スライドは、内側スライド上部壁を備えてもよい。内側スライド上部壁は、開口部を備えてもよい。開口部は、内側スライドの内部空間へのアクセスを可能にし得る。

【００３２】

内側スライドは、レセプタクル部分を備えてもよい。レセプタクル部分は、消費財を収容するための内側スライドの内部空間を少なくとも部分的に封入してもよい。

【００３３】

レセプタクル部分は、内側スライド底部壁ならびに第一の内側スライド壁および第二の内側スライド側壁によって少なくとも部分的に画定されてもよい。レセプタクル部分は、内側スライド前部壁によってさらに画定されてもよい。レセプタクル部分は、内側スライド後部壁によってさらに画定されてもよい。内側スライドは、レセプタクル部分の上部壁を備えてもよく、レセプタクル部分は、レセプタクル部分の上部壁によってさらに画定されてもよい。レセプタクル部分は、内側スライド前部壁と内側スライド後部壁との間に配置されてもよい。レセプタクル部分の上部壁は、開口部を備えてもよい。開口部は、レセプタクル部分の内部空間へのアクセスを可能にし得る。

【００３４】

第一および第二の内側スライド側壁のそれぞれは、内側スライドのレセプタクル部分の高さを有してもよく、これは外側スリーブの内部高さよりも小さい。別の言い方をすると、レセプタクル部分は、外側スリーブの内部高さよりも低い高さを有してもよい。これは、内側スライドが第二の位置にある時に、レセプタクル部分およびその中の任意の消費財容器へのアクセスを改善するのに役立つ場合がある。

【００３５】

内側スライドは、第一の整列部分を含んでもよい。第一の整列部分は、外側スリーブの内部高さと実質的に同じ高さを有してもよい。これは、内側スライドが外側スリーブの中にある時、第一の整列部分の一部が、外側スリーブ上部壁の内表面および外側スリーブ底部壁の内表面の近くに常に配置されることを意味し得る。したがって、第一の整列部分は、内側スライドが外側スリーブ上部壁と外側スリーブ底部壁との間の方向に外側スリーブ内に移動するのを防止するまたは最小限に抑えるように構成され得る。これは、内側スライド係合フラップが、内側スライド底部壁の外表面を覆うように構成され、係合要素が外側スリーブ底部壁の内表面上に配置される場合に特に有利であり得る。これは、こうした実施形態では、第一の整列部分は、内側スライドが第一の位置にある時に、内側スライド

係合フラップが係合要素の近くに位置付けられることを確実にするように作用し得るからである。これは、内側スライド係合フラップと外側スリーブの係合要素との間の係合の信頼性を高めるのに役立ち得る。

【００３６】

第一の整列部分は、内側スライド後部壁、ならびに第一および第二の内側スライド側壁のうちの一つまたは複数から形成され得る。いくつかの実施形態では、第一の整列部分は、内側スライド後部壁、ならびに第一および第二の内側スライド側壁のそれぞれの後部部分によって形成される。内側スライド後部壁は、したがって、外側スリーブの内部高さと実質的に同じ高さを有してもよい。別の方法としてまたは追加的に、第一および第二の内側スライド側壁のそれぞれの後部部分は、外側スリーブの内部高さと実質的に同じ高さを有してもよい。

【００３７】

第一の整列部分は、内側スライド後部壁の上端、ならびに第一および第二の内側スライド側壁の後部部分を横切って延在する上部パネルから形成されてもよい。第一の整列部分の上部パネルは、第一の整列部分と外側スリーブ上部壁の内表面との間の接触を改善するのに役立ち得る。第一の整列部分の上部パネルは、内側スライドが第二の位置にある時に特に、外側スリーブに対する内側スライドの旋回を防止する、または最小限に抑えるのに役立つ場合がある。

【００３８】

内側スライドがレセプタクル部分および第一の整列部分を含む場合、第一の整列部分は、外側スリーブ後部壁とレセプタクル部分との間に配置されてもよい。したがって、第一の整列部分は、内側スライドの後部に向かってまたは後部に配置されてもよい。

【００３９】

内側スライドがレセプタクル部分および第一の整列部分を含む場合、第一の整列部分はタワー構造を含み得る。タワー構造は、レセプタクル部分の上方に延在してもよい。

【００４０】

内側スライドは、第二の整列部分を備えてもよい。第二の整列部分は、外側スリーブの内部高さと実質的に同じ高さを有してもよい。これは、内側スライドが外側スリーブの中にある時に、第二の整列部分の部品が、外側スリーブ上部壁の内表面および外側スリーブ底部壁の内表面の近くに常に配置されることを意味し得る。したがって、第二の整列部分は、内側スライドが外側スリーブ上部壁と外側スリーブ底部壁との間の方向に外側スリーブ内に移動するのを防止する、または最小限に抑えるように構成され得る。これは、内側スライド係合フラップが、内側スライド底部壁の外表面を覆うように構成され、係合要素が外側スリーブ底部壁の内表面上に配置される場合に特に有利であり得る。これは、このような実施形態では、第二の整列部分は、内側スライドが第一の位置にある時に、内側スライド係合フラットが係合要素の近くに位置付けられることを確実にするように作用し得るからである。これは、内側スライド係合フラップと外側スリーブの係合要素との間の係合の信頼性を高めるのに役立ち得る。

【００４１】

第二の整列部分は、第一および第二の内側スライド側壁の一方または両方から形成され得る。いくつかの実施形態では、第二の整列部分は、第一および第二の内側スライド側壁のそれぞれの前面部分によって形成される。したがって、第一および第二の内側スライド側壁のそれぞれの前面部分は、外側スリーブの内部高さと実質的に同じ高さを有してもよい。

【００４２】

内側スライドがレセプタクル部分および第二の整列部分を備える場合、第二の整列部分は内側スライド前部壁とレセプタクル部分との間に配置されてもよい。したがって、第二の整列部分は、内側スライドの前面に向かってまたは正面に配置されてもよい。

【００４３】

内側スライド前部壁は、第一および第二の内側スライド側壁のそれぞれの前縁に固定さ

れてもよい。これは、一つ以上の接着剤によって達成され得る。別の方法として、これは、内側スライド前部壁を第一および第二の内側スライド側壁のそれぞれと一体的に形成することによって達成され得る。

【００４４】

第一および第二の内側スライド側壁のそれぞれの前縁は、内側スライド前部壁の高さの少なくとも５０％、より好ましくは、内側スライド前部壁の高さの少なくとも６０％である、高さを有してもよい。これは、使用中に内側スライド前部壁の屈曲を最小限に抑えるのに役立ち得る。これにより、パックがしっかり閉まることができる。これは、有利なことに、内側スライド前部壁が、そのサイズおよび形状を維持し、従って容器の使用中にその所望の視覚的効果を維持できることを保証するのに役立つ。

【００４５】

上述のように、内側スライドは、内側スライド後部壁、第一および第二の対向する内側スライド側壁、および内側スライド底部壁を含み得る。内側スライドのこうした構造的配置では、内側スライド後部壁、内側スライド底部壁、ならびに第一および第二の対向する内側スライド側壁が、内側スライドが第一の位置にある時に、対応する外側スリーブ後部壁、外側スリーブ底部壁、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁の下に完全にあるように、外側スリーブおよび内側スライドが構成されることが好ましい。こうした実施形態では、内側スライド後部壁では、内側スライドが第一の位置にある時に、内側スライド底部壁、ならびに第一および第二の対向する内側スライド側壁はユーザーに見えない。これは、不注意により容器が開封されるリスクを低減するのに役立ち得る。これはまた、内側スライドが第一の位置にある時に、容器の上部、底部、ならびに第一および第二の側部のうちの一つ以上でユーザーと連通するために利用可能な、途切れのない表面積の量を高めるのにも役立ち得る。

【００４６】

内側スライドが内側スライド底部壁を備える場合、内側スライド係合フラップは、内側スライド底部壁を覆って構成されることができる。内側スライド係合フラップは、内側スライドの後部から内側スライドの前面に向かって延在し、内側スライド底部壁の外表面の少なくとも一部分を覆ってもよい。これは、有利なことに、係止機構は、内側スライドの後部が外側スリーブの後部に達した後にのみ係合することを意味し得る。これは、保管空間の効率的な使用を確実にするのに役立ち得る。内側スライドが第一の位置にある時、内側スライド後部壁は外側スリーブ後部壁に隣接して配置されてもよい。

【００４７】

本発明の以下の説明では、本発明による容器の構成要素の相対的な位置を説明するために使用される「側部」、「上部」、「底部」、「前部」、「後部」およびその他の用語。容器の「底部」は、容器の「上部」の反対側の容器の側を意味する。容器の「前部」は、容器の「後部」と相反する容器の側を意味する。

【００４８】

本明細書で使用される場合、「高さ」という用語は、上部と底部との間に延びる寸法を意味する。

【００４９】

本明細書で使用される場合、「パネル」という用語は、材料の単一の連続した部分から形成される容器の一部分を意味する。パネルは、一つ以上の他のパネルに従属してもよい。

【００５０】

「壁」という用語は、より一般的に容器の面を意味し、また壁は単一のパネルまたはフラップから形成されてもよく、または壁は二つ以上の当接するまたは重なり合うパネルまたはフラップから形成されてもよい。

【００５１】

本明細書で使用される「従属」という用語は、本発明による容器の二つの要素間の物理的接続を説明するために使用される。より詳細には、「従属する」という用語は、容器ま

たはブランクの二つの壁またはパネルなどの、二つの要素の間に材料の連続性があることを示すために使用される。これは、壁またはパネルが、隣接する壁またはパネルに直接的に従属する場合、ならびに中間の壁またはパネルが二つの壁またはパネルを効果的に接続する場合の両方を包含する。

【００５２】

一例として、側壁または側方パネルは、隣接する前部壁または前部パネルに直接的に従属し得る。こうした場合、壁またはパネルは典型的に、隣接する壁から折り目に沿って従属する。別の方法として、丸みのあるまたは面取りされた縁を有する容器では特に、側壁または側方パネルは、前部壁または前部パネルに間接的に従属してもよい。こうしたケースでは、丸みのあるまたは面取りされた縁を有する壁またはパネルは、側壁または側方パネルと前部壁または前部パネルとを接続する。面取りされた縁の場合、側壁または側方パネルおよび前部壁または前部パネルはどちらも、それぞれの折り目に沿って接続する面取りされた縁端を有する壁またはパネルに従属してもよい。これはまた、本発明による容器の随意の構成要素（例えば、内側フレームの形態で提供された補強部材）に適用される。

【００５３】

「内表面」という用語は本明細書全体を通して、容器が閉位置にある時に、その容器の内部の方（例えば、消費財の方）を向いている、組み立てられた容器の構成要素の表面を指すために使用される。「外表面」という用語は本明細書全体を通して、容器の外部の方を向いている容器の構成要素の表面を指すために使用される。例えば、パッケージの前部壁は、パッケージおよび消費財の内側を向いている内表面と、消費財から離れる方を向いている外表面とを有する。注目すべきは、内表面または外表面が容器の組立に使用されるブランクの一定の側に必ずしも相当しないことである。消費財の周りにブランクがどのように折り畳まれるかに依存して、ブランクの同一の側にある区域は、容器の内側を向く可能性も外側を向く可能性もある。

【００５４】

「折り目」という用語は、ブランクが折り畳まれるブランクの任意の線を説明するために使用される。折り目は、折り畳み作用を支援するための虚弱線によって画定されてもよい。別の方法として、例えばブランク材料およびその他の材料の曲がりやすさの特徴に応じて、虚弱線の存在なしに折り畳みを形成することができる。

【００５５】

容器の係止機構が係合されると、内側スライドが、外側スリーブに対して第一の位置から第二の位置へと摺動することが防止される。係止機構の係合解除により、内側スライドを、外側スリーブに対して第一の位置から第二の位置へと摺動することができる。したがって、容器は、内側スライド係合フラップの外側スリーブ壁上のその対応する係合要素からの係合解除が、内側スライドを、外側スリーブに対して第一の位置から第二の位置へと摺動することを可能にするように構成され得る。

【００５６】

係合要素を有する外側スリーブの壁には、内側スライド係合フラップの縁を、係合要素から係合解除することを可能にするための解放要素が提供され得る。解放要素は、ユーザーによって容器にかけられた圧力に応答して、係止機構が係止状態から係止解除状態に移行することを可能にするように構成されてもよい。特に、解放要素は、ユーザーが係止機構と相互作用して係止機構を係止解除状態に移行させることを可能にするように構成されている。内側スライドが第一の位置にある時、外側スリーブの解放要素は、内側スライド係合フラップの少なくとも一部分を覆うことが好ましい。

【００５７】

一部の実施形態において、解放要素は、係合要素を有する外側スリーブの壁に切り抜きを含み得る。切り抜きは、内側スライドが第一の位置にある時に、内側スライド係合フラップの一部分に隣接して位置付けられてもよい。こうした実施形態では、切り抜きによって、ユーザーは、内側スライド係合フラップに直接アクセスし、内側スライド係合フラップを外側スリーブ壁上の対応する係合要素から係合解除することができる。特に、ユーザ

ーは、切り抜きを通して自身の指を挿入し、外側スリーブ側壁の内表面上の係合要素から離れるように内側スライド係合フラップを押して、係止機構を係止解除し得る。

【００５８】

一部の実施形態において、解放要素は、係合要素を有する外側スリーブの壁の少なくとも一つの切断線によって形成される解放タブを含む。例えば、外側スリーブ壁は、当該壁の解放タブの周囲の少なくとも一部を画定する切断部を含み得る。切断部は、Ｕ字形状の切断部であってもよい。切断部は、弓状の切断部であってもよい。解放タブは、その外側スリーブ壁の残りの部分に対して偏向可能であってもよい。これにより、ユーザーからの圧力に応答して、その外側スリーブ壁から独立して解放タブを移動させることができる。解放タブは、内側スライドが第一の位置にある時に、その対応する内側スライド係合フラップの一部分に隣接して位置付けられてもよい。したがって、使用時に、ユーザーは、解放タブを押して内側スライド係合フラップに力を並進させて、外側スリーブ壁の係合要素から内側スライド係合フラップを係合解除することができる。

【００５９】

解放タブの形態で解放要素を提供することによって、係止機構を係止解除するための手段を、容器への視覚的な影響を最小限にして、容器に組み込むことができる。従って、容器を係止解除するための手段は、明らかに視覚的に明白ではない場合がある。これは、不注意に容器が開放されるリスクの低減に役立ち得る。

【００６０】

上述のように、外側スリーブ壁の内表面は、内側スライドが第一の位置で外側スリーブ内にある時に、内側スライド側部フラップそれぞれの縁と係合するための係合要素を含む。係合要素は、内側スライド係合フラップと係合するためのバリアを提供する。特に、バリアは、内側スライドが第一の位置で外側スリーブ内にある時に、内側スライド係合フラップの縁に当接するように構成された係合縁を提供し得る。係合要素は、その対応する外側スリーブ壁と一体的に形成されてもよい。例えば、外側スリーブ壁は、外側スリーブ壁の内表面上に係合要素を提供するよう、増大した厚さを有する隆起部分を有して製造されてもよい。別の方法として、係合要素は、外側スリーブ壁の内表面に貼り付けられた要素を含み得る。要素は、外側スリーブ壁の内表面を横切って延びる材料の細片を含み得る。

【００６１】

係合要素は、外側スリーブ壁の内表面の一部に固定されたパネルから形成され得る。パネルは、折り目によってその対応する外側スリーブ壁に接続され、その対応する外側スリーブ壁に対して折り目を中心に約１８０度折り畳まれてもよい。

【００６２】

係合要素を有する外側スリーブの壁は、外側スリーブ底部壁であってもよい。

【００６３】

係合要素を有する外側スリーブの壁は、第一のパネルおよび第一のパネルを覆う第二のパネルから形成されてもよい。一部の実施形態において、この壁は外側スリーブ底部壁である。第一のパネルは、壁の内表面を画定し得る。第二のパネルは、壁の外表面を画定し得る。したがって、係合要素は、第一のパネル上、特に、第一のパネルの内表面上に位置付けられ得る。係合要素は、内側スライドの係合フラップに当接するように構成された縁を有するパネルの形態であってもよい。このパネルは、係合パネルとも呼ばれ得る。縁は、係合パネルの外縁によって提供されてもよい。別の方法として、縁は、係合パネルの切り抜きによって提供されてもよい。

【００６４】

容器が解放タブを含む場合、解放タブは第二のパネル上に形成されてもよい。一部の実施形態において、第一のパネルは、切り抜きを含む。切り抜きにより、内側スライドが第一の位置にある時に、解放タブが内側スライドの係合フラップと接触することが可能になる。

【００６５】

容器は、内側スライドが外側スリーブの第一の端の開口部から完全に外へ摺動すること

を防止するための保持機構をさらに備えてもよい。保持機構は、内側スライドが外側スリーブから分離されることを防止するのに役立ち得る。保持機構は、内側スライドが外側スリーブから完全に取り外されることを防止し得る。保持機構は、内側スライドが第二の位置を超えて摺動することを防止し得る。

【００６６】

保持機構は、有利なことに、内側スライドが第二の位置に達したという表示をユーザーに提供し得る。より具体的には、保持機構が係合して、内側スライドのさらなるを摺動を防止する時に、ユーザーは、内側スライドが第二の位置に達したという触覚表示を提供され得る。これは、内側スライドが、消費財にアクセスできる位置にあるという表示をユーザーに与え得る。

【００６７】

一部の実施形態において、保持機構は、内側スライドの一部を外側スリーブの一部に接続する伸長可能な部材を含む。伸長可能な部材は、内側スライドが第一の位置にある場合の後退状態と、内側スライドが第二の位置にある場合の伸長状態との間で変化するように構成されている。伸長可能な部材は、折り畳まれたパネルの細片の形態で提供されてもよく、細片の第一の端パネルは外側スリーブの一部に固定され、対向する細片の第二の端パネルは内側スライドの一部に固定される。例えば、細片の第一の端パネルは、外側スリーブ底部壁などの外側スリーブ壁の内表面に固定されてもよい。第二の端パネルは、内側スライド後部壁などの内側スライド壁の外表面に固定されてもよい。したがって、伸長可能な部材は、後退構成と伸長構成との間で変化する時、蛇腹状態であってもよい。

【００６８】

一部の実施形態において、保持機構は、保持要素を含む。保持要素は、外側スリーブ壁の内表面に配置されてもよい。保持要素は、係合要素を含む外側スリーブ壁の内表面に配置されてもよい。保持要素は、保持縁を含んでもよい。保持縁は、内側スライドが第二の位置にある時に、内側スライドの一部分と係合するためのバリアを提供し得る。より具体的には、内側スライドが第二の位置に達した時、外側スリーブ壁の内表面にある保持縁は、内側スライドの一部分と係合して、内側スライドが外側スリーブの第一の端の開口部から完全に外へ摺動することを防止し得る。

【００６９】

いくつかの実施形態では、保持要素は、内側スライド係合フラップと係合して、内側スライドが外側スリーブの第一の端の開口部から完全に外へ摺動するのを防止するように構成される。

【００７０】

いくつかの実施形態では、内側スライドは、内側スライド保持フラップをさらに含む。こうした実施形態では、保持要素は、内側スライド保持フラップと係合して、内側スライドが外側スリーブの第一の端の開口部から完全に外へ摺動するのを防止するように構成される。内側スライド保持フラップは、内側スライド後部壁に依存し得る。内側スライド保持フラップは、内側スライドが外側スリーブ内にある時、特に内側スライドが第一の位置にある時に、第一および第二の内側スライド側壁のうちの一つを覆わせるように構成され得る。

【００７１】

保持要素は、その対応する外側スリーブ壁と一体的に形成されてもよい。例えば、外側スリーブ壁は、外側スリーブ壁の内表面上に保持要素の保持縁を提供するよう、増大した厚さを有する隆起部分を有して製造されてもよい。別の方法として、または追加的に、保持要素は、外側スリーブ壁の内表面に貼り付けられてもよい。保持要素は、外側スリーブ壁の内表面の一部を横切って延びる材料の細片を含み得る。材料は、外側スリーブ壁の内表面の一部に固定されたパネルの形態であってもよい。

【００７２】

一部の実施形態において、保持要素は、折り目によって外側スリーブ壁に接続されたパネルから形成される。このパネルは、保持パネルとも呼ばれ得る。保持パネルは、その対

応する外側スリーブ壁に対して折り目を中心に約１８０度折り畳まれてもよい。折り目は、外側スリーブの第一の端に提供されてもよい。

【００７３】

一部の実施形態において、保持パネルは、第一および第二の外側スリーブ側壁のうちの一つの縁を形成する折り目に従属し、縁は、外側スリーブ開口部の第一の端に近接して配置される。こうした実施形態では、容器は、二つの保持パネルを備えてもよく、各保持パネルは、第一および第二の外側スリーブ側壁のうちの一つの縁をそれぞれ形成する折り目からのものである。こうした実施形態では、外側スリーブの各保持パネルは、内側スライドが第二の位置に到達した時に、対応する内側スライド保持フラップと係合して、外側スリーブの第一の端の開口部から内側スライドが完全に外へ摺動するのを防止するように構成され得る。

【００７４】

保持パネルは、折り目を中心に約１８０度折り畳まれてもよく、外側スリーブ壁の内側に位置付けられてもよい。一部の実施形態において、保持パネルは、外側スリーブの内部に向かって、したがって内側スライドに向かって突出してもよい。これは、保持パネルを外側スリーブ壁の内表面と同一平面に固定するために保持パネルと外側スリーブ壁との間に接着剤が提供されない場合に特に関連する。これはまた、保持パネルが、厚紙またはボール紙などの天然の弾性を有する材料から形成される場合に特に関連し得る。こうした実施形態では、第一の位置から第二の位置への内側スライドの摺動中、内側スライドのフラップは、保持パネルと外側スリーブ壁との間のギャップ内に摺動して、内側スライドが外側スリーブの第一の端の開口部から完全に外へ摺動することを防止し得る。内側スライドのフラップは、内側スライド保持フラップまたは内側係合フラップであってもよい。

【００７５】

上述の特徴のうちの一つ以上を有する保持要素は、多くの利点を提供し得る。例えば、保持要素は、特に保持要素が外側スリーブの既存の壁のうちの一つに従属する場合、製造が容易であり得る。

【００７６】

上述の本開示の容器または複数の容器では、内側スライドは、外側スリーブ内に配置される。したがって、こうした容器は、内側スライドが外側スリーブ内に配置される、完全に組み立てられた状態でユーザーに供給される。しかしながら、本開示はまた、内側スライドが最初は外側スリーブとは別々に供給され、ユーザーが内側スライドを外側スリーブの内部の中に挿入して完全に組み立てられた容器を形成する配置も企図している。

【００７７】

本開示によると、外側スリーブおよび外側スリーブの中に受容されるように構成された内側スライドを含んで本開示の容器を形成する、部品のキットが提供されている。部品のキットは、一つ以上の説明書を含んでもよい。説明書は、内側スライドを外側スリーブの中に挿入して、完全に組み立てられた容器を形成する方法に関する説明書を含み得る。これは、内側スライドを外側スリーブの中に挿入する工程をユーザーが実施することができることを意味するため、部品のキットの形態で容器を提供することは、製造の観点から有利であり得る。

【００７８】

本開示はまた、上述の容器の外側スリーブおよび内側スライドのうちの少なくとも一つを形成するための一つ以上の層状ブランクに関する。したがって、本開示の一部の実施形態によると、外側スリーブを形成するための第一の層状ブランクが提供されている。また、内側スライドを形成するための第二の層状ブランクが提供されてもよい。外側スリーブは、単一の層状ブランクで形成されてもよい。内側スライドは、別個の単一の層状ブランクで形成されてもよい。

【００７９】

上述のように、本発明による容器は、一つ以上の折り畳まれた層状ブランクから形成されることが好ましい。一つ以上の層状ブランクは、厚紙、ボール紙、プラスチック、金属

、またはこれらの組み合わせが挙げられるが、これらに限定されない、任意の適切な材料または材料の組み合わせから形成されてもよい。容器の異なる構成要素は、同一の材料から形成されてもよく、または異なる材料から形成されてもよい。一つ以上の層状ブランクの各々は、約１００グラム／平方メートル～約３５０グラム／平方メートルの重さを有する層状厚紙ブランクであってもよい。好ましい実施形態では、このブランクの厚さは、約１００マイクロメートル～約５００マイクロメートルであり、約２００マイクロメートル～約３５０マイクロメートルであることが好ましい。

【００８０】

容器は、幅の狭い二つの側壁によって間隙を介した幅の広い二つの壁（上部および底部）を含む、直方体であることが好ましい。本発明による容器は、長軸方向の直角の縁および横断方向の直角の縁を有する直方体の形状であってもよい。容器は、一つ以上の長軸方向の丸み付きの縁、横断方向の丸み付きの縁、長軸方向の面取り付きの縁、または横断方向の面取り付きの縁、またはこれらの組み合わせを含んでもよい。容器の形状は、外側スリーブの形状によって画定され得る。

【００８１】

容器は、複数の消費財を含み得る。消費財は、エアロゾル発生物品であり得る。エアロゾル発生物品は、エアロゾル発生基体が燃焼して煙を形成するたばこ材料を含む、フィルター付き紙巻たばこまたは他の喫煙物品であってもよい。エアロゾル発生物品は、たばこ材料が燃焼するのではなく、加熱されてエアロゾルを形成する物品であってもよい。エアロゾル発生物品は、ニコチン含有エアロゾルが、燃焼を用いずに、また一部の場合には加熱を用いずに、例えば化学反応によって、たばこ材料、たばこ抽出物、またはその他のニコチン供与源から発生される物品であってもよい。

【００８２】

エアロゾル発生物品は、金属箔または金属化紙で形成される内側パッケージに包まれた束の形態で容器内に提供されていてもよい。内側パッケージ材料は、金属化ポリエチレンフィルムおよびライナー材料の積層として形成されてもよい。ライナー材料は、スーパー仕上げグラシンペーパーでもよい。加えて、内側パッケージ材料には、印刷受容性のトップコートを提供してもよい。内側パッケージは、内側スライドが第二の位置にある時に、それを通してエアロゾル発生物品を取り外すことができるアクセス開口部を有する。

【００８３】

寸法の適切な選択によって、本発明による容器は、異なる合計数のエアロゾル発生物品、または異なる配置のエアロゾル発生物品を保持するように設計されてもよい。例えば、寸法の適切な選択によって、本発明による容器は、合計１０～３０個のエアロゾル発生物品を保持するように設計されてもよい。エアロゾル発生物品は、合計数に応じて、異なる並べ方で配置されてもよい。

【００８４】

ここで、例証としてのみであるが、添付図面を参照しながら本発明をさらに説明する。

【図面の簡単な説明】

【００８５】

【図１】図１は、本発明の第一の実施形態による容器を形成するための外側スリーブおよび内側スライドを示す。

【図２】図２は、内側スライドが第二の位置にある、本発明の第一の実施形態による容器を示す。

【図３】図３は、内側スライドが第一の位置にある、本発明の第一の実施形態による容器を示す。

【図４】図４は、本発明の第一の実施形態の外側スリーブの正面斜視図を示す。

【図５】図５は、本発明の第一の実施形態の外側スリーブの底部斜視図を示す。

【図６】図６、図７および図８は、本発明の第一の実施形態による容器の異なる構成における係止機構の断面図を示す。

【図７】同上。

【図８】同上。
【図９】図９は、内側スライドが第一の位置にある、本発明の第一の実施形態による容器の部分断面図を示す。
【図１０】図１０は、発明の第一の実施形態による容器を形成するための複数の層状ブランクを示す。
【発明を実施するための形態】
【００８６】
図１は、本発明の第一の実施形態による容器１を形成するための外側スリーブ２０および内側スライド５０を示す。
【００８７】
外側スリーブ２０は、外側スリーブ上部壁１１、外側スリーブ底部壁１２、外側スリーブ後部壁１３、第一の外側スリーブ側壁（図示せず）、第二の外側スリーブ側壁１５、および開口部１６を含む第一の端を含む。開口部１６は、外側スリーブ２０の第一の端の全体を横切って延在する。図４から最もよく分かるように、開口部１６は、外側スリーブ上部壁１１の前縁１１１、外側スリーブ底部壁１２の前縁１２１、第一の外側スリーブ側壁１４の前縁１４１、および第二の外側スリーブ側壁１５の前縁１５１によって区切られる。開口部１６は、外側スリーブ２０の第一の端の全体を横切って延在するため、外側スリーブ２０の第一の端もまた、これらの前縁１１１、１２１、１４１、１５１によって区切られる。
【００８８】
外側スリーブ２０の壁１１、１２、１３、１４および１５は、内側スライド５０を受けるための外側スリーブ２０内のエンクロージャを画定する。内側スライド５０は、内側スライド底部壁５２、第一の内側スライド側壁５４、第二の内側スライド側壁５５、内側スライド後部壁５３、および内側スライド前部壁５６を含む。
【００８９】
内側スライド５０は、レセプタクル部分６３を備え、このレセプタクル部分６３は、消費財を収容するための内側スライド５０の内部空間を部分的に封入する。レセプタクル部分６３は、内側スライド底部壁５２、第一および第二の内側スライド側壁５４、５５、およびレセプタクル部分の上部壁６４によって画定される。レセプタクル部分６３は、内側スライド前部壁５６と内側スライド後部壁５３との間に配置される。レセプタクル部分６３は、外側スリーブ２０の内部高さよりも小さい高さを有する。レセプタクル部分の上部壁６４は、レセプタクル部分６３の内部空間へのアクセスを可能にすることができる開口部６５を備える。
【００９０】
内側スライド５０は、タワー構造を含む第一の整列部分６１をさらに含む。第一の整列部分６１は、内側スライド後部壁５３、内側スライド底部壁５２の後部、第一の内側スライド側壁５４および第二の内側スライド側壁５５の後部、内側スライド上部壁５１、および第一の整列部分前部壁５８によって画定される。第一の整列部分６１は、外側スリーブ２０の内部高さと実質的に同じ高さを有する。これは、内側スライド５０が外側スリーブ２０内にある時、第一の整列部分６１の一部は常に、外側スリーブ上部壁１１の内表面および外側スリーブ底部壁１２の内表面の近くに配置されることを意味する。
【００９１】
内側スライド５０はまた、高さを有する第二の整列部分６２を備え、高さは外側スリーブ２０の内部高さと実質的に同一である。第二の整列部分６２は、第一および第二の内側スライド側壁５４、５５の前面部分によって画定される。これらの部分では、内側スライド側壁５４、５５は、レセプタクル部分６３の高さから外側スリーブ２０の内部高さに対応する位置に上方に延びる。
【００９２】
内側スライド５０は、内側スライド底部壁５２の後縁からに応じて、内側スライド係合フラップ５９をさらに含む。内側スライド５０が外側スリーブ２０内に配置されると、内

側スライド係合フラップ５９は、内側スライド５０の下に折り畳まれ、内側スライド底部壁５２の外表面を覆うように構成される。内側スライド５０はまた、第一および第二の内側スライド側壁５４、５５の対応する一方の後縁にそれぞれに応じて、第一および第二の保持フラップ８１、８２を含む。内側スライド５０が外側スリーブ２０内に配置される時、第一および第二の保持フラップ８１、８２のそれぞれは、その対応する内側スライド側壁５４、５５の外表面を覆うように構成される。外側スリーブ２０はまた、第一および第二の外側スリーブ側壁１４、１５のうちの対応する一方の前縁１４１、１５１からそれぞれに応じて、第一および第二の保持パネル２１、２２を備える。図４から最もよく分かるように、第一および第二の保持パネル２１、２２のそれぞれは、外側スリーブ２０の対応する前縁１４１、１５１の周りに折り畳まれ、外側スリーブ２０の内部に向かって突出する。以下でより詳細に説明するように、内側スライド５０および外側スリーブ２０のこれらのフラップおよびパネルは協働して、本発明の第一の実施形態の容器１の係止機構および保持機構を形成する。

【００９３】

図２および図３は、本発明の第一の実施形態の容器１を示し、内側スライド５０はそれぞれ第二の位置および第一の位置である。図２では、内側スライド５０は第二の位置にあり、レセプタクル部分６３は外側スリーブ２０の外側に配置されている。この位置では、レセプタクル部分６３内に保持された任意の消費財は、レセプタクル部分の開口部６５を通してユーザーがアクセスできる。ユーザーがもはや消費財へのアクセスを希望しない場合、レセプタクル部分６３が外側スリーブ２０内に移動するように、内側スライド５０を外側スリーブ２０に対して摺動させることができる。内側スライド５０は、図３に示す第一の位置に到達するまで移動し続けることができる。

【００９４】

図３の第一の位置では、レセプタクル部分６３の内部空間は、ユーザーによってアクセスできない。さらに、図３の第一の位置では、内側スライド前部壁５６の内表面の周辺部分が、外側スリーブ上部壁１１、外側スリーブ底部壁１２、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁１４、１５のそれぞれの前縁１１１、１２１、１４１、１５１を覆う。さらに、内側スライド前部壁５６は、外側スリーブ２０の第一の端の形状およびサイズと実質的に同じ形状およびサイズを有する。これは図３および図９で見ることができる。したがって、内側スライド５０が第一の位置にある時、外側スリーブ壁であるかのように見える内側スライド前部壁５６の視覚的効果がある。

【００９５】

図６～８は、本発明による容器のための係止機構の部分断面図を示す。図は、様々な構成における係止機構を示す。

【００９６】

係止機構は、内側スライド係合フラップ５９および外側スリーブ係合要素３１を含む。外側スリーブ係合要素３１は、外側スリーブ底部壁１２の内表面に固定された外側スリーブ係合パネル２３１によって形成される。外側スリーブ底部壁１２は、外側スリーブ底部壁１２に解放タブ７０を画定する内部切断線７１を含む。解放タブ７０は、図６に示すように、内側スライドが第一の位置にある時に、内側スライド係合フラップ５９の上にあるように位置付けられる。内側スライド係合フラップ５９は、内側スライド底部壁５２の後縁に依存する。内側スライド５０が外側スリーブ１０の中にある時、内側スライド係合フラップ５９は、内側スライド底部壁５２の外表面の一部分を覆っている。内側スライド５０が外側スリーブ１０の中にある時、内側スライド係合フラップ５９は、内側スライド底部壁５２と外側スリーブ底部壁１２との間に位置付けられる。

【００９７】

外側スリーブ係合要素３１は、図６に示すように、容器が第一の位置にある時に、内側スライド係合フラップ５９の先端縁と係合して、内側ボックス５０が外側スリーブ２０の第一の端の開口部１６に向かって、および外側スリーブ２０の第一の端の開口部１６から摺動することを防止する、係合縁３３を有する。

【００９８】
図６では、係止機構は係止状態にある。係止機構を係止解除するために、ユーザーは解放タブ７０を押して、外側スリーブ２０に対して内方に偏向させる。次に、解放タブ７０は、内側スライド５０の内側スライド係合フラップ５９と接触し、内側スライド係合フラップ５９を、外側スリーブ２０の係合要素３１から押し退ける。これにより、図７に示すように、内側スライド係合フラップ５９の先端縁が、外側スリーブ係合要素３１によって形成されたバリアから係合解除される。
【００９９】
したがって、図７は、内側スライド５０が外側スリーブ２０に対してなおも第一の位置にある、係止解除状態にある係止機構を示す。しかしながら、係止機構が係止解除されているため、内側スライド５０は、外側スリーブ２０に対して直線的に、内側スライド５０内に保持される任意の消費財がユーザーによってアクセスされ得る第二の位置に向かって移動することができる。結果として、解放タブ７０を押して係止機構を係止解除した後、ユーザーは、外側スリーブ２０に対して内側スライド５０を摺動させて、消費財へのアクセスを得ることができる。こうした摺動移動は、図７と８の間の、外側スリーブ２０の構成要素に対する内側スライド５０の構成要素の位置の変化によって図示されている。特に、内側スライド底部壁５２および内側スライド係合フラップ５９は、図７のそれらの位置に対して、図８で横方向に移動した。したがって、図８は、内側スライド５０が第二の位置にある、係止解除状態の係止機構を示す。
【０１００】
ユーザーが消費財へのアクセスを終了すると、ユーザーは、内側スライド５０を外側スリーブ２０の内部の中へと戻るよう摺動させ得る。これは、内側スライド係合フラップ５９を、図７に示す位置に対応する位置に戻す。しかしながら、ユーザーが解放タブ７０をもはや押さないので、内側スライド５０の係合フラップ５９は、図６に示す位置に戻り、外側スリーブ係合要素３１と係合することができる。これにより、係止機構が図６の係止状態に戻る。このような状況では、内側スライド係合フラップ５９は、内側スライド係合フラップ５９と内側スライド底部壁５２を形成するパネル１５２との間の折り目によって生成される付勢力のために、図６に示す位置に自動的に戻り得る。
【０１０１】
上述のように、外側スリーブ２０は、内側スライド５０が第二の位置を超えて摺動することを防止するための保持機構を形成するのに役立つ第一の保持パネル２１と第二の保持パネル２２を含む。特に、第一の保持パネル２１と第二の保持パネル２２のそれぞれは、内側スライド５０が第二の位置にあり、内側スライド５０が第二の位置を超えて摺動することを防止する時に、内側スライド５０の第一の保持フラップ８１と第二の保持フラップ８２のうちの対応する一つと係合するように構成される。
【０１０２】
特に、内側スライド５０が第二の位置に移動すると、外側スリーブ２０の第一の保持パネル２１は、内側スライド５０の第一の保持フラップ８１と第一の内側スライド側壁５４の外表面との間の空間に移動する。同様に、内側スライド５０の第一の保持フラップ８１は、外側スリーブ２０の第一の保持パネル２１と第一の外側スリーブ側壁１４の内表面との間の空間内に移動する。この連動配置は、内側スライド５０が第二の位置を超えてさらに摺動することを防止する。同様の配置は、外側スリーブ２０の第二の保持パネル２２および内側スライド５０の第二の保持フラップ８２に関して、容器１の他方の面で発生する。
【０１０３】
図１０は、本発明による容器１を形成するための二つの層状ブランク、すなわち、第一の層状ブランク１００および第二の層状ブランク２００を示す。層状ブランクを使用して、図３および図４に示す容器１を形成することができる。層状ブランク１００、２００における破線は折り目を示し、実線は切断線を示す。
【０１０４】

第一の層状ブランク１００は、外側スリーブ２０を形成するように構成される。第一の層状ブランク１００は、外側スリーブ上部壁パネル２１１、外側スリーブ底部壁パネル２１２、第一の外側スリーブ後部壁パネル２１３第二の外側スリーブ後部壁パネル２１７、第一の外側スリーブ側壁パネル２１４、および第二の外側スリーブ側壁パネル２１５を含む。これらのパネルは共に、外側スリーブ２０の壁を形成する。

【０１０５】

第一の層状ブランク１００は、外側スリーブ上部壁パネル２１１の内表面に対して横たわるように構成された外側スリーブ上部壁補強パネル２２７、第一の外側スリーブ側壁パネル２１４の内表面に対して横たわるように構成された第一の外側スリーブ側壁補強パネル２２３、および第二の外側スリーブ側壁パネル２１５の内表面に対して横たわるように構成された第二の外側スリーブ側壁補強パネル２２４をさらに備える。補強パネル２２７、２２３、２２４は、外側スリーブ２０の第一の端にさらなる構造的剛性を提供するのに役立ち得る。補強パネル２２７、２２３、２２４は、外側スリーブ２０の第一の端での前縁１１１、１２１、１４１、１５１の外観を改善するのに役立ち得る。

【０１０６】

第一の層状ブランク１００は、外側スリーブ上部壁パネル２１１を第二の外側スリーブ後部壁パネル２１７に接合するように構成された第一の外側スリーブ接合パネル２１８、外側スリーブ底部壁パネル２１２を第二の外側スリーブ後部壁パネル２１７に接合するように構成された第二の外側スリーブ接合パネル２１９、および外側スリーブ底部壁パネル２１２を第二の外側スリーブ側壁パネル２１５に接合するように構成された第三の外側スリーブ接合パネル２２８をさらに含む。接合は、接合パネル２１８、２１９、２２８のそれぞれと接触する接着剤によって達成され得る。

【０１０７】

第一の層状ブランク１００は、それぞれ、第一の外側スリーブ側壁パネル２１４と第二の外側スリーブ側壁パネル２１５のうちの対応する一つに応じる、第一の保持パネル２１（２２１）と第二の保持パネル２２（２２２）をさらに備える。外側スリーブ底部壁パネル２１２には、解放タブ２７０を画定するＵ字型の切断線２７１が提供されている。第一の層状ブランク１００は、外側スリーブ底部壁パネル２１２に応じる外側スリーブ係合パネル２３１をさらに含む。容器が組み立てられると、外側スリーブ係合パネル２３１は、外側スリーブ底部壁１２（２１２）の内表面に固定される。外側スリーブ係合要素３１を形成するため。

【０１０８】

第二の層状ブランク２００は、内側スライド前部壁５６を形成するための一対のパネル２５６、２９０、内側スライド後部壁５３を形成するための一対のパネル２５３、２５７、第一の内側スライド側壁５４を形成するための一対のパネル２５４、２９１、および第二の内側スライド側壁５５を形成するための一対のパネル２５５、２９２を含む。各対には、対応する内側パネル２９０、２５７、２９１、２９２と重複する外側パネル２５６、２５３、２５４、２５５があり、組み立てられた内側スライド５０の壁を形成する。

【０１０９】

内側スライド前部壁５６の外側パネル２５６は、実質的にバレル形状である。さらに、この外側パネル２５６は、対応する内側パネル２９０よりも大きなフットプリントを有する。したがって、第二の層状ブランク２００が折り畳まれて内側スライド５０を形成する時、内側スライド前部壁５６の形状およびサイズは、その外側パネル２５６の形状およびサイズによって画定される。さらに、組み立てられた内側スライド５０では、内側スライド前部壁５６の外側パネル２５６は、内側スライド前部壁５６の内側パネル２９０を超えて延在し、その結果、内側スライド前部壁５６の周囲が外側パネル２５６によって画定される。さらに、図９に示すように、内側スライド５０が第一の位置にある時、内側スライド前部壁５６の内表面の周部が、第一および第二の対向する外側スリーブ側壁１４、１５のそれぞれの前縁１４１、１５１を覆い、当接する。特に、内側スライド前部壁５６のこの内表面は、外側パネル２５６によって提供される。内側スライド前部壁５６の内側パネ

ル２９０は、外側スリーブ内、ならびに第一および第二の対向する外側スリーブ側壁１４、１５の間に位置付けられる。したがって、内側スライド５０が第一の位置にある時、外側スリーブ壁であるかのように見える内側スライド前部壁５６の視覚的効果がある。

【０１１０】

第二の層状ブランク２００はまた、内側スライド底部壁パネル２５２の後縁からに応じて、内側スライド底部壁パネル２５２および内側スライド係合フラップ２５９を含む。第二の層状ブランク２００内のさらなるパネルは、レセプタクル部分の上部壁パネル２６４、内側スライド上部壁パネル２５１、および第一の整列部分前部壁パネル２５８を含む。

【０１１１】

第二の層状ブランク２０は、第一の整列部分前部壁パネル２５８を第一の内側スライド側壁５４の内側パネル２９２に接合するように構成された第一の内側スライド接合パネル２９３と、第一の整列部分前部壁パネル２５８を第二の内側スライド側壁５５の内側パネル２９１に接合するように構成された第二の内側スライド接合パネル２９４と、レセプタクル部分の上部壁パネル２６４を第一の内側スライド側壁５４の内側パネル２９２に接合するように構成された第三の内側スライド接合パネル２９５と、をさらに備える。接合は、接合パネル２９３、２９４、２９５のそれぞれと接触する接着剤によって達成され得る。

【０１１２】

内側スライド側壁５４、５５の各内側パネル２９１、２９２は、各パネル２９１、２９２から保持フラップ８１、８２（２８１、２８２）を形成するためのｕ字型の内部切断線２８３、２８４が提供されている。内側スライド５０が組み立てられると、図１に示すように、各保持フラップ８１、８２（２８１、２８１）は、対応する内側スライド側壁５４、５５から離れて延在する。

【図面】

【図１】

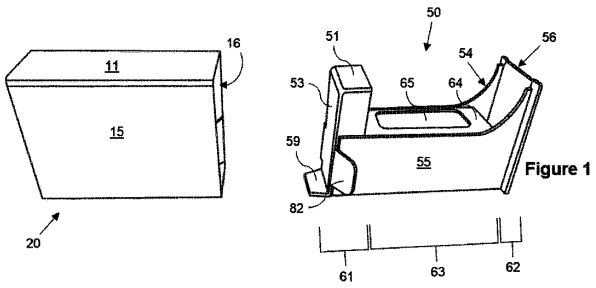

Figure 1

【図２】

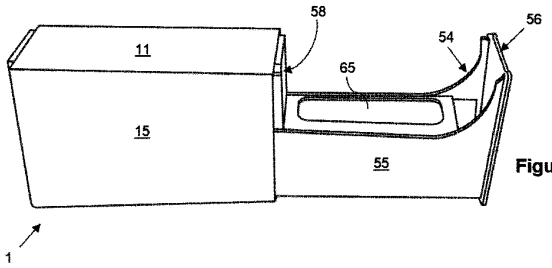

Figure 2

【図３】

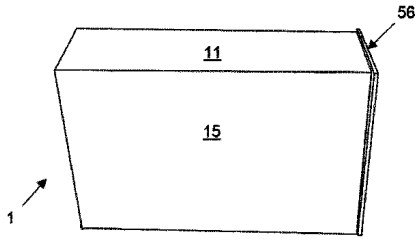

Figure 3

【図４】

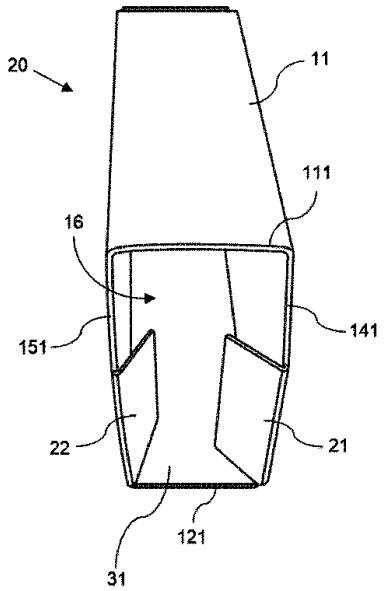

Figure 4

【図５】

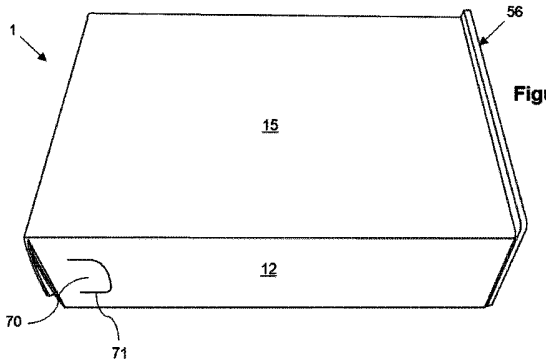

Figure 5

【図６】

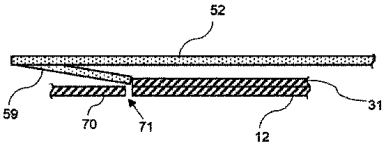

Figure 6

【図７】

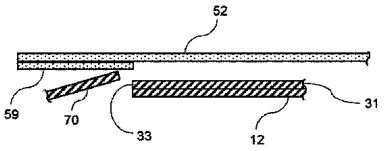

Figure 7

【図８】

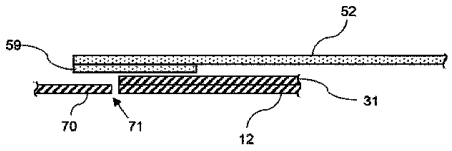

Figure 8

【図９】

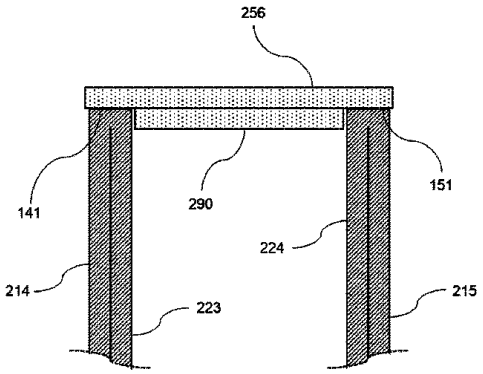

Figure 9

【図１０】

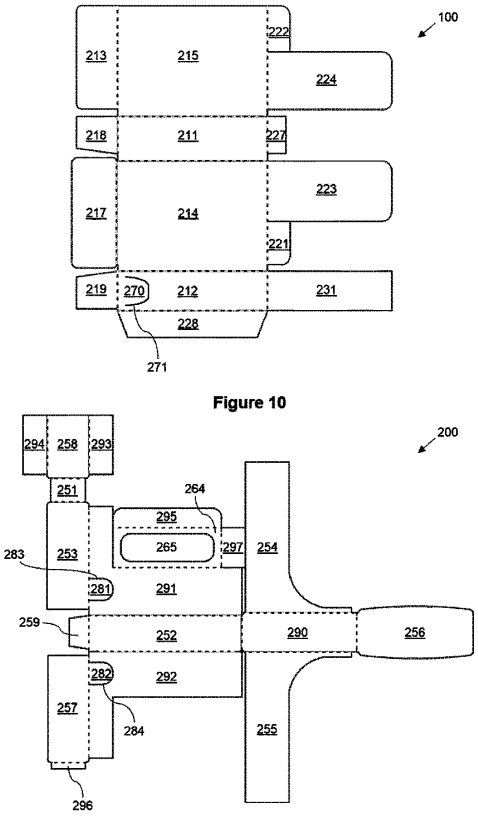

Figure 10

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2020/086396

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
INV. B65D5/38
ADD.

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
B65D

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)
EPO-Internal

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	WO 2009/148032 A1 (JAPAN TOBACCO INC [JP]; TAWADA SHUNSUKE [JP] ET AL.) 10 December 2009 (2009-12-10) figures 1-4	1-11, 13-15
Y	CN 109 878 854 A (NICHOLAS EVAN MOTT) 14 June 2019 (2019-06-14) figures 1-4	1-11, 13-15
A	US 2018/257827 A1 (DROSOS MICHAEL [US] ET AL) 13 September 2018 (2018-09-13) figures 1-6	1-5,8-12
A	GB 446 782 A (JOHN FELLOWS) 6 May 1936 (1936-05-06) page 2, lines 27-29; figure 1	1

-/--

[X] Further documents are listed in the continuation of Box C.

[X] See patent family annex.

* Special categories of cited documents :

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
8 March 2021	18/03/2021

Name and mailing address of the ISA/	Authorized officer
European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016	Balz, Oliver

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (April 2005)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2020/086396

C(Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	WO 2016/138305 A1 (EVERETT MUNSON WHITMAN [US]) 1 September 2016 (2016-09-01) the whole document	1-15
A	US 5 275 291 A (SLEDGE LARRY C [US]) 4 January 1994 (1994-01-04) figures 21-24	1-15

Form PCT/ISA/210 (continuation of second sheet) (April 2005)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No
PCT/EP2020/086396

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
WO 2009148032 A1	10-12-2009	JP 2009292513 A	17-12-2009
		TW 201002582 A	16-01-2010
		WO 2009148032 A1	10-12-2009
CN 109878854 A	14-06-2019	NONE	
US 2018257827 A1	13-09-2018	NONE	
GB 446782 A	06-05-1936	NONE	
WO 2016138305 A1	01-09-2016	CA 2977772 A1	01-09-2016
		DK 3261941 T3	18-05-2020
		EP 3261941 A1	03-01-2018
		US 2016251107 A1	01-09-2016
		WO 2016138305 A1	01-09-2016
US 5275291 A	04-01-1994	NONE	

Form PCT/ISA/210 (patent family annex) (April 2005)

フロントページの続き

MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IR,IS,IT,JO,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,PH,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,WS,ZA,ZM,ZW

(74)代理人　100109335
弁理士　上杉 浩
(74)代理人　100120525
弁理士　近藤 直樹
(74)代理人　100139712
弁理士　那須 威夫
(74)代理人　100167911
弁理士　豊島 匠二
(72)発明者　アランゴ ジュリアナ
スイス ２０００ ヌシャテル ケ ジャンルノー ３
(72)発明者　ポリアー ジュリー
スイス ２０００ ヌシャテル ケ ジャンルノー ３

Ｆターム（参考）　3E060　AA03 BA23 BC02 BC04 DA15 DA30 EA14